

熊本市  
動植物園  
*Master  
PLAN*

【概要版】

*For the 100th anniversary*





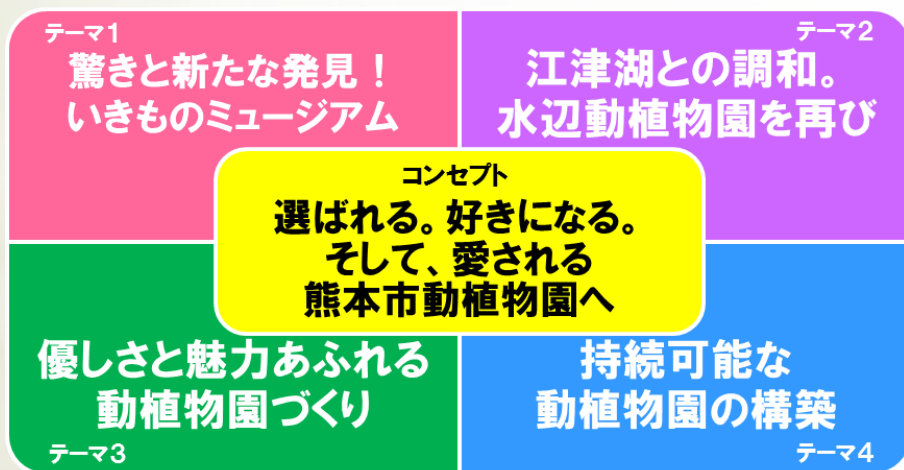
## 熊本市動植物園マスタープラン策定の目的

動植物園は、1929年(S4)に開園し、2029年(H41)に開園100周年を迎えます。

そこで、その節目を迎えるに当たり、その後の将来を見据えた上で、利用者のニーズに合致した動植物園となるための「動植物園のあるべき姿（コンセプト）」を示し、その実現に向け計画的に取り組むを行うための「熊本市動植物園マスタープラン」を策定することとしました。

## 熊本市動植物園マスタープランのコンセプト

今後集客性の向上や施設の活性化を図っていくために、園全体の再編整備を行い、園独自の新たな魅力を創出していくことが必要であると考え、江津湖畔の自然環境と調和のとれた快適で魅力的な動植物園、「選ばれる。好きになる。そして、愛される熊本市動植物園へ」を目指します。



## 熊本市動植物園マスタープランの計画期間

2019年（H31）から2028年（H40）までの概ね10年間の取り組みを示すこととします。

なお、テーマ1の中にある、「【将来を見据えたエリア計画】」についてのみ、長期的（20～30年後）な視点が必要となることから、本計画期間の対象外とします。

### テーマ1．驚きと新たな発見！ いきものミュージアム

動物は約120種700頭。植物は約730種88,000点を展示しています。これらの展示物をご覧頂くだけでなく、命の大切さや生き物の尊さを伝えていくことが重要と考えています。

### テーマ2．江津湖との調和。水辺動植物園を再び

江津湖畔にある「熊本市動植物園」。江津湖畔というロケーションを活かした動植物園を目指します。

### テーマ3．優しさの魅力あふれる動植物園づくり

来園者に優しく、魅力ある空間を提供することで、選ばれる動植物園につなげていきます。

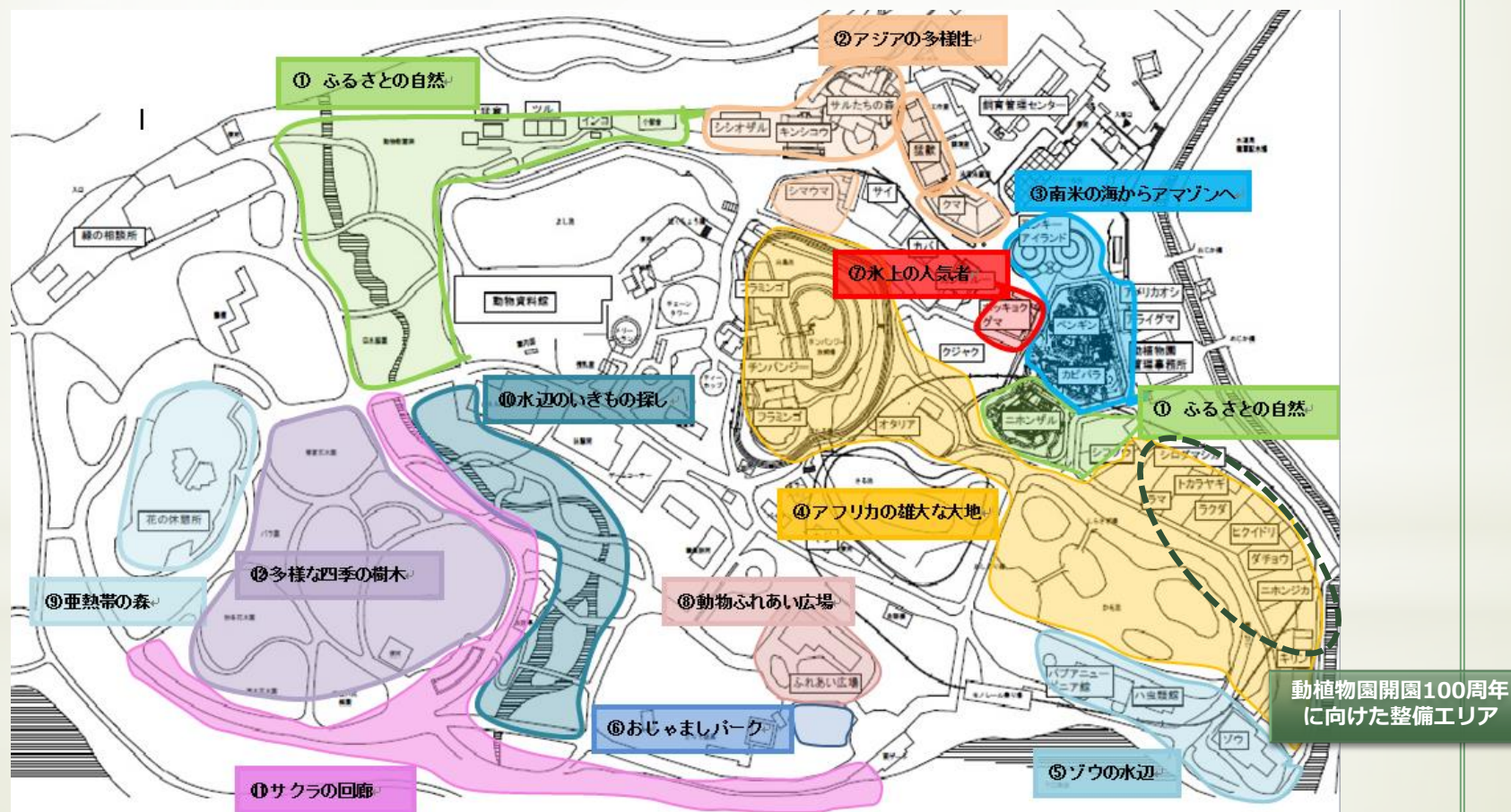
### テーマ4．持続可能な動植物園の構築

施設の老朽化や収支状況の改善など、経営的な面についても課題を抱えています。この課題を少しでも改善し、持続可能な動植物園を構築します。

## テーマ1. 驚きと新たな発見！いきものミュージアム

## 【将来を見据えたエリア計画】

動植物の展示施設を整備するには、多額の費用が必要になることから、将来を見据えた長期的（20～30年後）な視点が必要になります。そこで、動植物園が考える展示テーマのあるべき姿を描き、その姿にあわせた、展示施設のエリア計画を策定しました。なお、本計画においては、策定したエリア計画をもとに、今後10年間の展示施設整備計画を策定することとしました。



# テーマ1. 驚きと新たな発見！いきものミュージアム

## 【将来を見据えたエリア計画】（解説）

### ①ふるさとの自然

- ・熊本県及び国内の動植物を通じ、身近な自然の大切さと生物多様性を学ぶことができる展示を行う

### ②アジアの多様性

- ・アジア地域の動物の地上から樹上など生活の多様性を展示する
- ・ネコ科動物の生態や習性の多様性を比較展示する
- ・草原、水辺、密林、高地などアジア地域の多様な環境を学ぶことができる展示を行う

### ③南米の海からアマゾンへ

- ・海岸に生息するフンボルトペンギン、水辺に生息するカピバラ、樹上生活のクロクモザルなど環境に適応した動物の特性を学ぶことができる展示を行う

### ④アフリカの雄大な大地

- ・雄大なサバンナを連想させる広い展示場でキリンやシマウマなどの動物の混合展示を行う
- ・森（チンパンジー）、水辺（カバ）、サバンナ（混合展示）などのアフリカの多様な環境を学べる展示を行う
- ・サバンナの雄大な大地の先に江津湖が望めるロケーションをつくる

### ⑤ゾウの水辺

- ・絶滅の恐れのある希少動物の象徴でもあるゾウの飼育展示を将来継続的に可能とする施設をつくり、種の保存の重要性を伝える

### ⑥おじゃましパーク

- ・来園者自らが、動物の飼育されているエリアに入り、より近くで動物を見ることができる展示を行う

### ⑦氷上の人気者！

- ・絶滅危惧種であるホッキョクグマの国内繁殖の取り組みを知り、環境保全の重要性を伝える

### ⑧動物ふれあい広場

- ・動物とのふれあいを通して命の尊さを学べるエリアとする
- ・人と関わりの深い家畜や愛玩動物を展示し、人との関係や歴史について学ぶことのできる場を提供する
- ・子どもから大人まで、楽しむことのできる体験型プログラムを充実させる

### ⑨亜熱帯の森

- ・花の休憩所温室を利用し、亜熱帯に生息する動物と植物を一体的に展示する

### ⑩水辺のいきもの探し

- ・日本庭園下流域に江津湖に棲む水生生物を観察できる場所をつくる
- ・動物資料館で繁殖した水生生物の放流や流域植物の整備により、自然に繁殖ができる水辺環境をつくる

### ⑪サクラの回廊

- ・植物ゾーンの花畑横から水辺にかけて桜を充実させる

### ⑫多様な四季の樹木

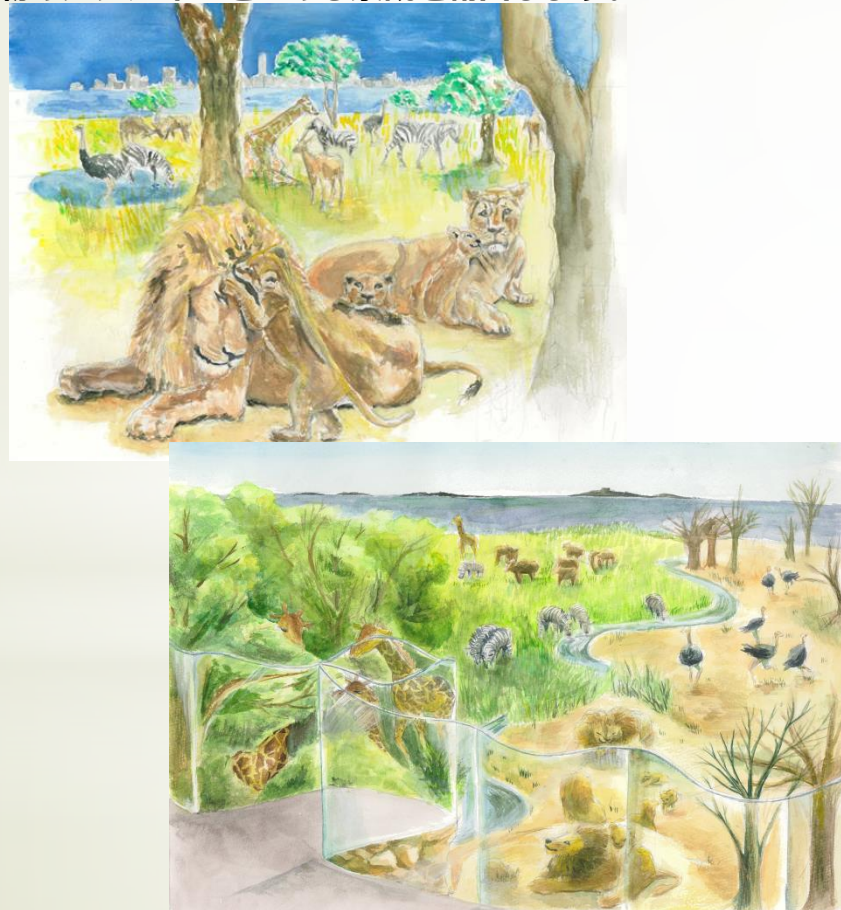
- ・四季を通じて樹木の変化が楽しめる展示を行う
- ・芝生や緑陰など植物の中でやすらぎを与える風景を作り出す



# テーマ1. 驚きと新たな発見！いきものミュージアム

## 【動植物園開園100周年に向けた整備計画】

現在の草食獣舎エリアは、開園当初に建築された木造舎などがあり、動植物園内の施設の中でも、一番老朽化した動物舎です。本整備では本来の生息環境に出来るだけ近づけるため広大なサバンナと低木林を再現し、動物の福祉に配慮した施設を整備します。また、サバンナの草原にいる動物の先に江津湖を望める景観を創出します。



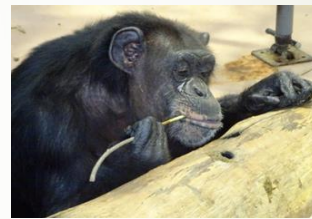
(イメージ図上) 熊本県立第二高等学校 美術科 1年 原 大知さん作  
(イメージ図下) 熊本県立第二高等学校 美術科 1年 河津 若菜さん作

## 【展示方法の改善】

- 体験型、近くで観察できる展示を目指します。
- 動植物を一体化した展示に取り組み、生息域を感じる展示を目指します。
- 動物の福祉に配慮した展示に取り組みます。



(ハンスオン展示の取り組み)



(環境エンリッチメントの取り組み)

## 【種の保存・調査研究の推進】

- コレクションプランを策定し、動植物の収集・繁殖・増殖に取り組みます。
- 絶滅の恐れのある動植物種の保存に取り組みます。
- 専門知識を持つ職員の育成、動植物についての調査研究を推進します。

## 【自然環境教育の推進】

- 現在の動物資料館を、江津湖の希少動物の繁殖や生息域外保全の拠点とするとともに、学習の場を提供する「いきもの学習センター」へ見直します。
- 学習プログラムの整備を強化します。



(工サの調理・設置を行う体験プログラム)



(飼育員体験)

## テーマ2. 江津湖との調和。水辺動植物園を再び

### 【江津湖畔を活かしたカフェ等の設置】

カフェやレストランを中心とし、子どもが遊び・学ぶことができるスペースや、おとながくつろげる、読書スペースやアートを備えた休憩スペースなどを併せ持つ複合施設の導入の可否を、PPP（公民連携）の枠組みの中で検討し、民設民営のカフェやレストランを中心とした複合施設の導入を目指します。



（写真：例）京都市動物園の図書館カフェ）  
【京都市動物園ホームページより抜粋】

### 【江津湖畔の立地を活かした動植物展示】

- 「④アフリカの雄大な大地」に、江津湖を一望できるビューポイントを作り広大なサバンナ風景を見せる。
- パプアニューギニア館及びは虫類館は、江津湖との一体的な眺望を確保するために撤去を行います。
- 江津湖の希少動物の繁殖や生息域外保全の拠点とするとともに、江津湖を始めとする地域の自然について楽しく学べる「いきもの学習センター」へ見直しを図ります。

## テーマ3. 優しさと魅力あふれる動植物園づくり

### 【正面ゲートリニューアル】

開園100周年の節目を迎えるにふさわしい動植物園の新たなシンボルとして、正面ゲートのリニューアルを行います。リニューアルにあたっては、サービス及び利便性向上、売店・飲食店の充実等を検討し、より優しく、魅力あふれ、来園者の皆様から愛される正面ゲートを目指します。また、正面ゲートのリニューアルについては、PPPの枠組みの中でも併せて検討を行います。

### 【園路の段差解消・休憩スペース等の設置】

- 埋設管掘削工事、地盤沈下、経年劣化等により園路に凹凸や段差が発生している箇所をフラットに改修します。
- 木陰の休憩スペースや、一定の間隔でベンチの追加設置を行います。
- 案内サインの見直し及び改修を行い、来園者の誰もがわかりやすい動植物園の構築を目指します。

### 【体験型涼場づくり】

花の休憩所前に設置してある噴水施設を見直し、「見る」から「触れる」という施設への転換を検討します。快適性と娯楽性を兼ね備えた新たなシンボリックなスポットを提供し、さらなる魅力度アップを目指します。



（花の休憩所前噴水）



（体験型涼場イメージ）



## テーマ3. 優しさと魅力あふれる動植物園づくり

### 【園内トイレ改修】

屋外トイレの5棟全てが築25年を過ぎており、老朽化しています。洋式化への改修を進めるとともに、園内での配置を見直しにより快適空間の創出を図ります。

### 【園内夜間照明改修】

2017年度(H29°)は、夏と冬の夜間開園を実施しましたが、5日間で延べ2万2千人もの来園者があり人気イベントです。柔軟に夜間開園対応ができ、近い将来の水銀ランプ供給停止に備える為にも、照明改修を行います。

### 【新たな遊戯施設の導入】

震災や老朽化により、スーパーバイキングとディスク・オーの遊戯施設が撤去しました。幅広い年代の来園者が楽しめる遊戯施設の導入を、PPPの枠組みの中で、民間活力の導入により実現を目指します。



(スーパーバイキング)



(ディスク・オー)

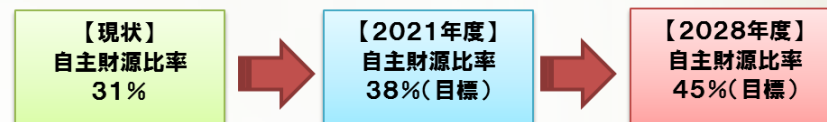
### 【非常事態対策】

- 災害時避難誘導サインの導入、非常事態対策マニュアルの見直しや定期的な防災訓練などに取り組み、来園者が安心できる動植物園を構築します。
- 熊本地震発生時、駐車場を車中泊の避難者受入や災害ボランティアセンターの拠点として活用したため、災害発生時のその他の利用方法についても検討を行います。

## テーマ4. 持続可能な動植物園の構築

### 【自主財源を充当する経費】

- 現在の熊本市動植物園を維持するための経費（ただし、職員・嘱託職員の人件費を除く）を入園料等の自主財源で賄うことが必要と考えました。
- 自主財源比率を下記のとおり引き上げることを目標とします。



### 【歳出削減と歳入の確保】

- 燃料光熱水費をはじめとする、自主財源で賄うべき経費の削減に取り組みます。また、効率的な管理運営の構築に向けた検討を継続的に行います。
- 入園料・駐車場使用料の見直しを検討します。
- 新たな来園者の獲得に向けた広報・イベントに取り組みます。

### 【園内施設の長寿命化対策】

2018年度(H30°)に熊本市動植物園の長寿命化計画の策定を行い、施設の延命を図り、費用の平準化に努めます。

### 【動物サポーター制度の見直し】

動物サポーター制度を廃止し、動植物園の展示施設整備に特化した基金を作り、この計画を基にした展示施設の整備に使うことを目的とした「(仮称)熊本市動植物園100周年施設整備基金」の設立に向けて検討を行います。

# 全体スケジュール

実施年度	2018年 (H30)	2019年 (H31)	2020年 (H32)	2021年 (H33)	2022年 (H34)	2023年 (H35)	2024年 (H36)	2025年 (H37)	2026年 (H38)	2027年 (H39)	2028年 (H40)
テーマ1. 驚きと 新たな発見！ いきもの ミュージアム					開園100周年に向けた整備計画						
	展示方法の改善										
	コレクションプランの策定										
	調査・研究事業の推進										
	いきもの学習センターの整備（計画策定・ソフト）							いきもの学習センターの整備（ハード）			
	学習プログラムの整備										
テーマ2. 江津湖との調和 水辺動植物園を再 び	カフェレストラン等の複合施設の導入										
					開園100周年に向けた整備計画【再掲】						
	いきもの学習センターの整備（計画策定・ソフト）【再掲】							いきもの学習センターの整備（ハード）【再掲】			
テーマ3. 優しさと 魅力あふれる 動植物園づくり	正面ゲートリニューアル										
	園路の段差解消										園路の段差解消
	休憩スペース・ベンチ設置		案内サイン改修								
	体験型涼場づくり										
	園内トイレ改修									園内トイレ改修	
	園内夜間照明改修										
	新たな遊戯施設の導入										
	非常事態対策										
テーマ4. 持続可能な 動植物園の構築	歳出削減に向けた取り組み										
	入園料の見直し						入園料の見直し（再検討）				
	駐車場使用料の見直し						駐車場使用料の見直し（再検討）				
	新たな来園者の獲得に向けた広報・イベントについて										
	長寿命化対策（計画）		長寿命化対策（工事）								
	動物サポーター見直し										